

ふるさとの画家。ふるさとの宝。

# ようこそ。 空想と想像の 安野光雅美術館へ

## PROFILE

大正15（1926）年3月20日、島根県津和野町生まれ。昭和24年美術教員として上京し、教員のかたわら本の装丁などを手がける。昭和43年に絵本「ふしぎなえ」で絵本界にデビュー。以後次々と獨創性に富んだ作品を発表し、国際アンデルセン賞をはじめ数々の賞を受賞。代表作「ふしぎなえ」「ABCの本」「天動説の絵本」「旅の絵本」「繪本平家物語」等。



安野光雅氏



カルチャー教室



プラネタリウム



昔の教室

好奇心の扉を開く不思議な絵や淡い色調の水彩画などで、子どもから大人まで広く親しまれている、津和野町出身の画家・安野光雅氏。子どもころから画家への夢を抱き、何かにつけて絵を描いていた少年でした。

生まれてから小学校時代までの多感な時期を津和野で過ごし、後に山口師範学校（現在の山口大学教育学部）研究科を修了し、山口県徳山市（現在の周南市）で小学校の教員を務めた後、上京。画家となってからも幼少期を過ごしたふるさとへ寄せられる思いは強く、昭和五十五年（一九八〇年）には、津和野の風景を描いた『津和野』を刊行。その絵筆で描き出された風景は、このまちの素朴な美しさを改めて見直させてくれるものでした。

## 夢をはぐくんだふるさとの風景

# 星空と空想の国へ旅する美術館

平成十三年三月、地元のたくさんの方々の声を受けて「安野光雅美術館」が誕生しました。場所は、SLやまぐち号の終着駅でもあるJR津和野駅のすぐ近く。町並みになじむようにと安野さんが望んだ美術館は、石見瓦を葺き、酒蔵を思わせるようなどこか懐かしさを感じる建物となっています。

ロビーに入ると、安野さんがデザインした「魔方陣」のタイルで装飾された壁面が訪れた人々を出迎えてくれます。第一、第二展示室を備えた展示棟では、創造力豊かな安野作品を鑑賞することができます。

学習棟には、「空想を育む大切さを一人でも多くの方に理解してほしい」という安野さんの思いから導入されたプラネタリウムがあり、津和野の四季の星空や「天動説の絵本」を上映しています。そのほかにも、昭和初期の木造校舎を再現した昔の教室や図書室、独創的な作品が次々に生まれてくる安野さんのアトリ工が再現してあります。

安野光雅美術館には、夢や空想の世界へと心が旅をしたくなる不思議な時間が流れています。



座談会  
(左側より 山根基代アナウンサー、彫刻家 佐藤忠良氏、安野光雅氏)



コンサート風景



## ■津和野町立安野光雅美術館

津和野町後田160-1  
 TEL 0856-72-4155 FAX 0856-72-4157  
 開館時間／午前9時～午後5時（最終入館は午後4時45分まで）  
 休館日／3・6・9・12月の第2木曜日、及び12/29～12/31  
 （特別展等準備期間を除く）

